

# オートライト (コンライト) ユニット TATLIGHT-01 取付説明書

パーソナルCARパーツ

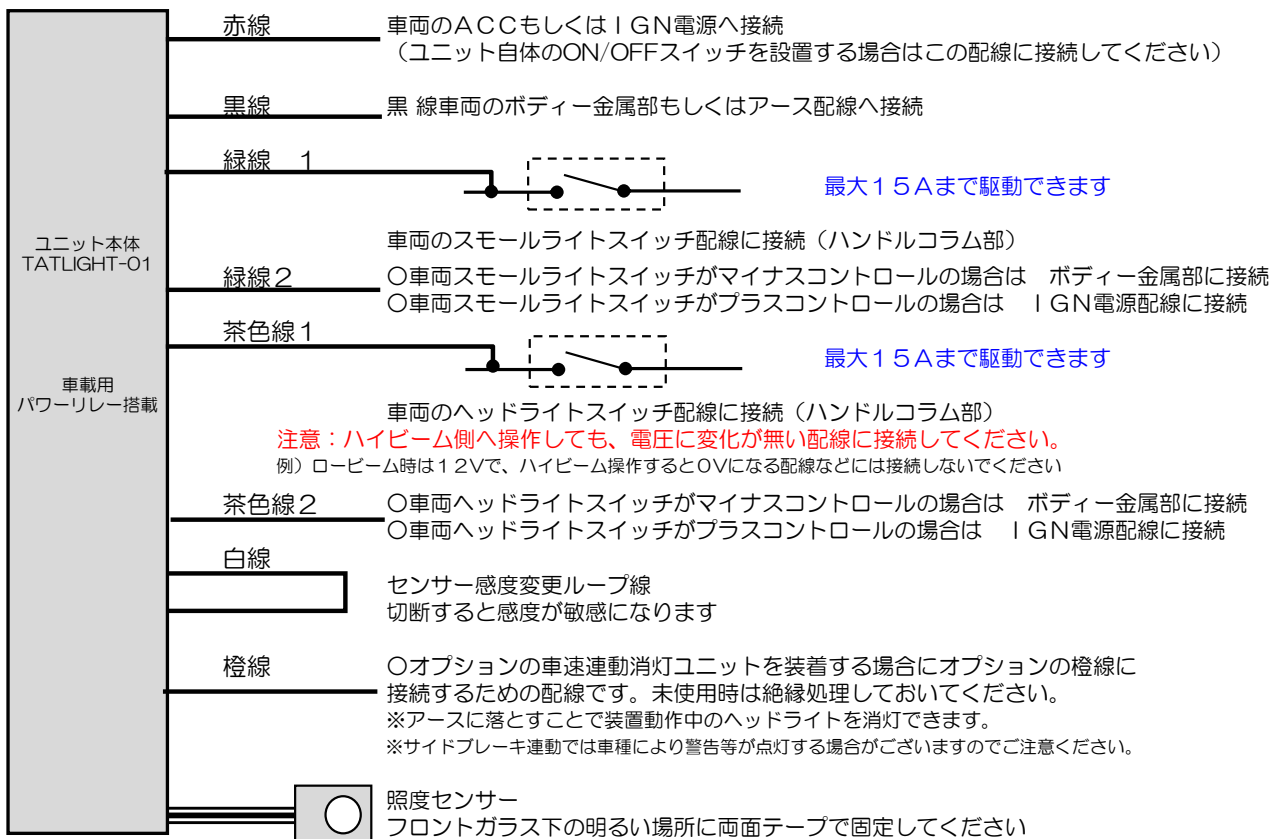
この度はオートライトユニット TATLIGHT-01 をご購入いただき誠にありがとうございます。  
本機を取り付ける際は、予めバッテリーのマイナス側ターミナルを取り外し、感電、短絡事故が発生しないよう、十分に気をつけて作業を行ってください。  
短絡 (ショート) を発生させると最悪の場合、各種 ECU (車に装着されているコンピュータ) が破損し走行不能に陥ることも予想されます。 充分予備知識を蓄えた上で、取り付け作業にとりかかるところをお勧めします。  
また、取付けに関するサポートは出来る限りさせていただきますので、お気軽にメールをください。  
車種毎の配線図を車を購入されたディーラから入手されると、より具体的なサポートが可能となりますので、ご考慮います (必要な部分は、ライトスイッチ周りの配線図です)  
それでは、本機が快適なカーライフの一助となれば幸いです。

## 動作仕様

本ユニットの動作仕様は、下記のとおりとなります。

- ◎周囲の明るさをセンサーが感知し、薄暮状態でスモールランプを自動点灯し、更に暗くなるとヘッドライトを自動点灯します。周囲が明るくなるとそれぞれ自動消灯します。
- ◎センサー感度は2段階調整が可能です。
- ◎キーオフと同時にライトが自動消灯します。
- ※本ユニットは12V車専用です。 [12V車両以外には取付けできません。](#)
- ※本ユニットでのヘッドライト自動点灯時、車両レバー操作による 遠目側 が利かない車両があります。その場合は、手動でヘッドライトを点灯状態にした後、遠目に切り替えてください。  
(パッシングは別回路となっている場合が多いのでほとんどの場合、通常とおり使用できます)
- ◎パーキングブレーキ有効時に自動消灯します。
- ◎信号待ち等の車両の停止中に自動でヘッドランプを消灯 (スモールランプは点灯) します。 ※オプション装着時

## 配線図



- 注意: マイナスコントロールとはスイッチオンでボディーアースとなる状態で、  
プラスコントロールとはスイッチオンで+12Vが通電となる状態をあらわします。
- 注意: 緑線及び茶色線は10~15A程度流れる可能性がありますので、車両側への接続、  
絶縁処理はしっかり確実に行ってください。

# 取 付 け 手 順

## 免責事項

装着の着手を以って、下記事項をご了承頂いたものとさせていただきます。

- 1、本装置の装着は全て自己責任のもとで実施願います。
- 2、本装置装着による結果、または過程においてどのような事態に陥っても弊社に責は無いものとします。

※取り付けにはテスターまたは検電ペンが必要です。

※作業開始前に 配線図 をよく御覧いただき、各配線の接続先について理解をお願いします。

1. 車両のスマールライトスイッチ配線をテスターで探します。  
ハンドルコラムカバーを外し、ライトスイッチレバーから出ている配線をテスターで確認できる状態にします。  
スマールライトスイッチをON/OFF繰り返し、電圧に変化がある配線を特定します。  
スマールライトスイッチONで12Vから0Vに変化する場合は、マイナスコントロール制御、逆に0Vから12Vに変化する場合は、プラスコントロール制御となります。
2. スマールライトスイッチ配線関係の配線を結線します。  
車両スマールライトスイッチ配線に、本体ユニットから2本出ている 太い緑配線 の一方を接続します。  
もう一方の 太い緑配線 は、スマールライト制御がマイナスコントロール制御の場合はボディー金属部へ、  
プラスコントロール制御の場合はIGN（イグニッション）電源に接続します。  
※10～15アンペア程度流れる可能性があるため、IGN電源配線は充分電流容量がある場所から分岐してください。  
キーシリンダ部に配線されている太いIGN電源配線もしくは、ヒューズボックスなどから直接分岐してください。  
※配線接続、ボディー金属部への接続はしっかりと確実に行ってください。
3. ヘッドライトスイッチ配線関係の配線を結線します。  
車両ヘッドライトスイッチ配線に、本体ユニットから2本出ている 太い茶配線 の一方を接続します。  
ヘッドライトスイッチ配線はロービーム側信号配線に結線しますが、車両によっては、  
ロービーム時12Vで、ハイビーム時に0Vとなる配線が存在する場合があります。  
このような配線には絶対に接続しないでください。 ハイビーム操作でヒューズまたは装置が故障します。  
ハイビーム操作時でも、電圧の変化がないロービーム信号配線に接続します。  
もう一方の 太い茶配線 は、ヘッドライト制御がマイナスコントロール制御の場合はボディー金属部へ、  
プラスコントロール制御の場合はIGN（イグニッション）電源に接続します。  
※10～15アンペア程度流れる可能性があるため、IGN電源配線は充分電流容量がある場所から分岐してください。  
キーシリンダ部に配線されている太いIGN電源配線もしくは、ヒューズボックスなどから直接分岐してください。  
※配線接続、ボディー金属部への接続はしっかりと確実に行ってください。
4. 電源配線、ボディーアース配線を接続します。  
ユニットの赤配線を車両ACC電源配線もしくはIGN電源配線に接続します。  
ユニットの制御電源となりますので、本配線に12Vが通電しているときにユニットは作動します。  
次に、ユニットの黒配線をボディー金属部またはアース配線に接続します。
5. 照度センサーを設置します。  
照度センサーをフロントガラス下のダッシュボード上に両面テープで固定設置します。  
センサーの丸い窓を上側にして、センサーに影がかからない場所を選んでください。
6. 動作確認をします。  
キーをON位置にして、照度センサー部を手で塞ぎ、暗くします。  
この状態でスマールライト、ヘッドライトが自動点灯することを確認します。  
暗さの度合いで、スマールライトのみ、またはヘッドライトの同時点灯かが変わります。  
また、手を離してセンサー部を明るくすると、ライトが自動消灯することを確認します。
7. 必要に応じてセンサー感度を変更します。  
何日か出荷状態のままでご使用いただいた後、センサー反応感度が鈍い（暗いのにライトが点灯しない等）  
と感じられた場合、ユニットのセンサー感度変更ループ配線を切断してください。  
出荷時よりも感度が敏感になります。  
以上で終了です。 お疲れ様でした。